

防衛省政策会議 議事要旨

日時：平成22年5月13日（木）午前8時00分～9時10分

場所：参議院議員会館仮庁舎1階 第1会議室

防衛省出席者：榛葉防衛副大臣（途中退席）、長島防衛大臣政務官、楠田防衛大臣政務官

議題：①防衛大臣のインド出張の結果報告について

②韓国海軍艦艇沈没事案について

③その他

楠田政務官の司会により進行。

1. 議題①について石川国際政策課長より説明。議題②について神原調査課長より説明。議題③について「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会（第6回）の結果」に関し鈴木防衛政策課長より、「ハイチにおける自衛隊のPKO活動に係る経費」に関し榎本会計課長より、それぞれ説明。

2. 意見交換

【防衛大臣のインド出張について】

○ 日印防衛相会談において、防衛相会談で、インドの核兵器の件を取り上げなかったのか

（高見澤防衛政策局長）

インドの核兵器の問題についてはこれまでいろいろな場で取り上げられてきたものであり、今回の防衛相会談では首脳レベルでの防衛交流の考え方に従い、地域の安全保障情勢や今後の日印防衛協力等について議論を深めたものである

【韓国艦艇沈没事案について】

○ 今回の沈没事案について、

- ・ 米韓合同演習の期間中に発生したものである
- ・ 検出された火薬の成分はNATOが使用しているものである

等々の報道等も出ているので、こういった報道に関する事実関係を含めて説明しないと、誤解を招くものになりかねない

○ 韓国の当局が公式発表したものによるだけではなく、防衛省として独自に

収集した情報はないのか。

(長島政務官)

防衛省として、今回の沈没事案が北朝鮮の攻撃によるものであると断定しているわけではない。最終的な調査結果が5月20日をメドに発表されるこのことであり、その調査結果を踏まえ、あらためて説明させていただきたい。

(高見澤防衛政策局長)

現時点で、防衛省として責任をもって示すことができるのは、実際に現地で責任をもって調査に当たっている合同調査団や韓国当局が公式に発表した情報を元にしたものとならざるを得ないことについて、理解いただきたい。

【その他】

○ 東シナ海での中国海軍の動向について、自衛隊も東シナ海で訓練を行うなど、中国に対してプレゼンスを示すべき。

(長島政務官)

偶発的な衝突に至らないよう注意を払いつつも、我が国としての意思を示すことができるよう努めていきたい

(以上)